

TCSW

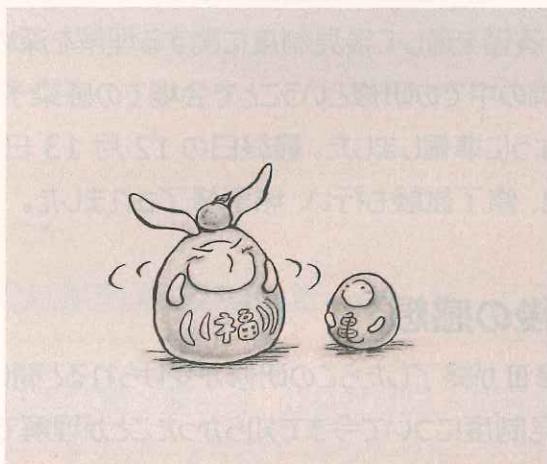
# 鯰おこし

no.102号 発行・編集:(一社)富山県社会福祉士会

〒939-0341 射水市三ヶ 579 富山福祉短期大学 1号館 1F内

tel/fax 0766-55-5572 toyama.csw@gmail.com

令和3年1月31日発行



chiaki

## 新年のごあいさつ

会長 清水剛志

新年あけましておめでとうございます。

2021年の年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大により、富山県社会福祉士会の活動にも様々な影響が生じてしまいました。会員の皆様をはじめ、関係各位のご支援ご協力をいただきまして心よりお礼申し上げます。

年が明け、富山県は35年ぶりの大雪となりました。冬には雪が降り積もることはわかっていたのに、除雪や通勤に非常に苦労しました。コロナ禍の影響で、学校の授業時間の確保が難しいと言われていたところに大雪の影響で、県内の学校は休校となりました。冬はまだしばらく続くので、次の寒波がまたやってくるかもしれません。次は対処できるようにしたいと思うところです。「わかっていたのに」と言われますが一方で「想像以上の事」とも言われます。そのときの見立ては難しいですが、短期的に中・長期的にも見立てが大切だと思いました。「雪は降り積もる」ということから、「どのような影響があるのか」ということを想像することができるようになります。備えが大切です。

「備えあれば憂いなし」日々、この言葉を言い聞かせていきたいと思います。

現在のコロナ禍は未だに収束が見通せずにいます。今後も社会に影響を与えるものと考えられます。私たち社会福祉士は専門性をもって見立て、様々な活動に取り組んでいくことが求められていると思います。

最後に、本年も富山県社会福祉士会にご理解ご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

# 研修報告 ぱあとなあ富山

## 人材育成研修報告

2020年度成年後見人材育成研修（石川県・福井県・富山県の3県共催。今年度は石川県社会福祉士会が主管団体）は、9月から12月にかけて計4日間実施し、受講者約30名が講義や演習を通して後見制度に関する理解を深めました。

コロナ禍の中での研修ということで会場での感染予防はもちろん、会場入りが難しい受講者にはリモートでも参加できるように準備しました。最終日の12月13日（日）は石川・福井・富山の各会場をオンラインでつなぎ、演習の他、修了試験も行い、無事修了されました。

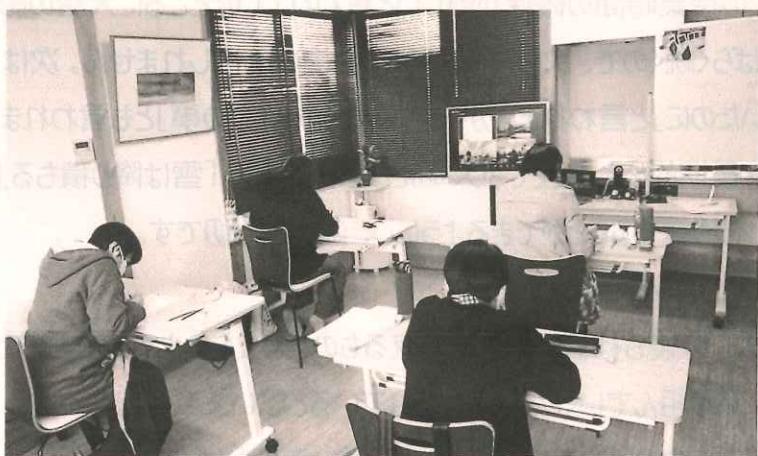
### 〈受講後の感想〉

基礎研修Ⅲが終了したらこの研修が受けられると聞いて受けた。今回、4回程金沢の方に行った。コロナ禍であったが後見制度について今まで知らなかったことが理解できた。すごく充実した時間を過ごせた。1件でも受任して記憶が残っているうちに実践に活かしていきたい。

研修はしんどかったです。専門職の中でも社会福祉士としての視点として活動されているぱあとなあの方の活動を聞けたのが貴重な経験になりました。ありがとうございました。

後見をやりたくて受けたが、ものすごく不安でどうしようかなと考えました。

後見の制度について分かりやすく教えてもらった。1回目の研修の課題を丁寧に採点されて長いコメントをもらってびっくりした。貴重な資料をもらった。ぱあとなあの方の知識が豊富でよく勉強されていて感銘を受けた。今回学んだことを活かして後見活動をやれたらいいなと思っている。



chiaki

## 魚津市市民後見人養成講座へ講師を派遣しました

魚津市社会福祉協議会主催の研修「令和2年度 魚津市市民後見人養成講座 基礎研修（計8日間）」が開催され、ぱあとなあ富山からは7~8日目の講師を担当しました。講義では、申立書類の作成の仕方や、就任直後の後見業務（財産目録作成）、後見予算表の作成、就任中の後見等業務、報告書作成、報酬付与申立、後見事務終了の業務、死後事務について経験談を交えながら丁寧に説明を行いました。今後、身近な立場で支援をする市民後見人が一人でも増えることを願い、ぱあとなあ富山としてもできることを積極的に行っていきたいと考えています。

～実務で後見制度に関わっている方へ～

『意思決定支援を踏まえた後見事務のガイドライン』が公表されました

この度、最高裁判所、厚生労働省及び専門職団体（日本弁護士連合会、公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート及び公益社団法人日本社会福祉士会）をメンバーとするワーキング・グループにて、協議・検討を進めてきました『意思決定支援を踏まえた後見事務のガイドライン』が完成し、日本社会福祉士会のホームページでも公表されています。日本社会福祉士のホームページにおける公開先は、以下のURLのとおりです。

[https://www.jacsw.or.jp/12\\_seinenkoken/guideline.html](https://www.jacsw.or.jp/12_seinenkoken/guideline.html)

ホームページでは、当該ガイドラインの他、アセスメントシート（様式1~5）と、意思決定支援等に関する各種ガイドラインの比較表も掲載しております。ぜひご活用ください。

またこれからの時期は、被後見人等の確定申告や、市県民税の申告、ぱあとなあ活動報告などの提出がありますので、宜しくお願いします。

## 基礎Ⅰ研修報告

居宅介護支援事業所木ここち 水野 孝明

2019年に社会福祉士登録でしたが、自分には何ができるのだろうか。この疑問について、研修内で「社会福祉士の役割、専門性とは何か？」と、繰り返し問われることになった。

事前課題のレポートで自ら考え、e—ラーニングでは気付きを得た。その後、集合研修で同期受講の方々と共に考え、理解を深めた。

また、ソーシャルワーク実践について、所属組織内外の先輩社会福祉士の方々に話を伺い、課題を共有する機会を得た。それらの課題は、私が抱えていた課題と共通する部分が多くかった。今後、それぞれの実践を伝えあることで、解決の糸口が見つかる可能性があり、非常に有意義な経験となった。

最後に、この研修の最大の収穫は、コロナ禍にも関わらず、日常業務の隙間を縫い、自己研鑽に励む社会福祉士の仲間たちに出会えたことである。世界中でソーシャルワークを実践している仲間たちの姿が、透けて見えてきたのは、きっと私だけではないはずである。



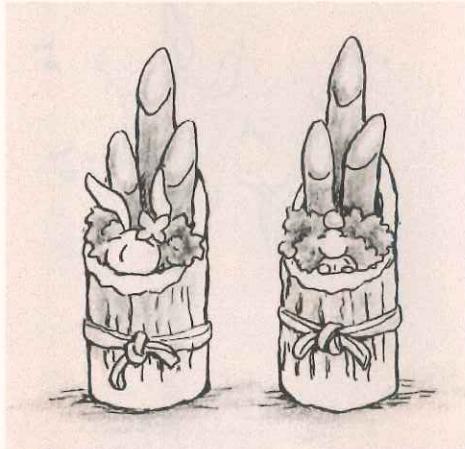
## 会員 西島 祥子

今回基礎研修Ⅰ 集合研修（2）に参加させて頂きました。講義では、社会福祉士に共通する専門性の理解や倫理綱領・行動規範の理解について学び、演習では、社会福祉士の倫理綱領の現場適応や価値観の多様性をテーマにロールプレイを通じてグループごとで議論、発表をしました。社会福祉士としての共通基盤は同じでありながらも実践分野が違うことで、それぞれの立場から様々な意見や視点があり大変勉強になり、刺激を受けました。

社会福祉士は「人の生き方に関わる仕事、生き方を支えていく仕事」それが社会福祉士の醍醐味だという講師の言葉が大変印象的です。私たちは、人の人生に影響を与え、自己実現を支えていく立場であるということに責任を持ち実践に取り組むことが大事だと思いました。その為には、倫理綱領や行動規範は改めて大切なことだと振り返ることができ、今回の研修では原点に戻れたように思います。

どれだけ経験を重ねても時には初心に返り、自分自身の実践に振り返りの視点を持つことが必要だと感じました。今後、対応に迷いやジレンマに陥ったとき、実践の方向性の指針として、また実践の裏付けとして倫理綱領を見直し参考にしていきたいです。その積み重ねにより結果、クライエントの利益に繋がっていくということを学びました。

今後さらに社会福祉士として、そのときどきの問題に対応していくよう専門性の向上を目指し日々努力し続けていきたいと思います。



chiaki

## がんばる社会福祉士

各分野で頑張っておられる会員です。今号もおふたりの会員をご紹介します。

趣味・マイブームについてもお聞きしました。自薦他薦を問いません。ご応募お待ちしています。

### サニーケアプランセンター 高橋 三千代

今の会社に転職し、居宅介護支援事業所をスタートさせて、6年が経過しました。よく人から「一人ケアマネだと大変でしょう?」、「一人ケアマネだと相談する相手がいなくてどうしているのですか?」などと聞かれることがあります。しかし、私にはあまり一人といった感覚がありません。私を育てようしてくれている先輩方、気軽に相談できる仲間、無理を聞いてくれるサービス事業所、訪問を待ってくれているクライエント等、日々周囲に人がいて、それがとても心地よく、私を素直に前に向かせてくれていると思っています。

以前、私は地域包括支援センターに勤務していました。社会福祉士の先輩方がサクサクと困難事例をこなして

いくのを傍から見ていて、とても格好が良く早く自分もそなりたいと思い、いざ試験に合格した時は本当に嬉しかったです。

さて、合格から 4 年経過しました。現在、基礎課程Ⅰを受講したところです。私のパソコンのアイコンには『研修計画』というのがあります。その中身は、私の令和 7 年までの受ける研修、欲しい資格、興味のある事が記載されています。焦らず、一つ一つ足元を踏み固めていくための計画です。「年を取ってから、私にこんなに素敵な出会いが待っていたなんて。」「あなたがいてくれると思うだけで安心できます。」私がクライエントから言わされた素敵な言葉です。責任を果たすため、日々邁進していきたいと思っています。今後とも、よろしくお願ひいたします。

【趣味・マイブーム？】15 年位前に通信で絵を 4 年間習いました。ちょこちょこと描いて楽しんでいましたが、2 年間まったく描いていません。なぜでしょう？ 多分、もう一度学び直したくなったのかもしれません。

もう一つ、気になっていること。娘が飽きて置き去りになっている、エレキギター。「誰でも良いから弾いてくれ～。」と言っている気がします。



chiaki

## 国立大学法人富山大学、金沢大学非常勤講師 会員 山田従子

はじめまして！私は令和 2 年 2 月 2 日という、語呂の整った、第 32 回社会福祉士国家試験の受験者です。今は、大学で非常勤講師として中国語を教えています。

今まで何度も「どうして社会福祉士に？」と聞かれました。確かに不思議なご縁です。あれは 4 年前の夏。中国語の研修で知りあった女性教員の名刺の「社会福祉士」の肩書が目に留まり、私も同じ質問を彼女にしてしまいました。彼女は「この資格をもつていると、仕事の幅が広がるのよ。」と教えてくれました。更に、彼女は「この資格を取ったら？」と私に勧めてくれたのです。(資格取得後、彼女に感謝を述べたところ、「え？ 私そんなこと言ったの？」となるで記憶になかったのですが<笑>)また、身内の「成年後見人」の相談をしに行った時、相談者の名刺にも「社会福祉士」という肩書があったのです。このような巡りあわせに、私は、「頑張って社会福祉士の資格を取得しよう！」と決心しました。

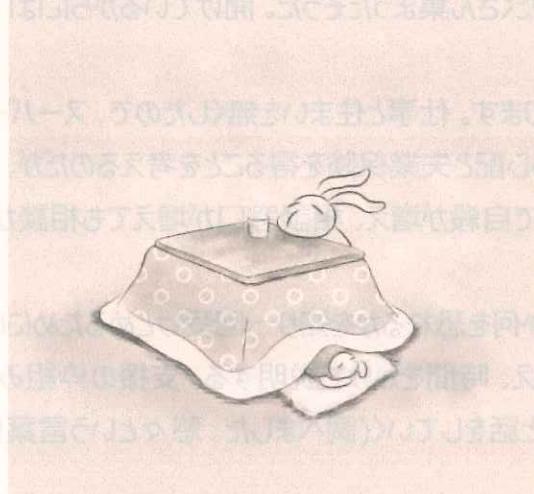
現在、研修に参加し、ソーシャルワーク等の基礎を学び始めました。「対人」という点では、私の今の職場(教室)も同じです。全国から集まって来たたくさんの若人と向き合っています。様々な個性を持った学生たち。対応に悩むことは日常茶飯事です。発達障害を抱える学生も増加傾向にありますが、私の方から、ほんの少し声をかけ

るだけで、変化が感じられる場合があり、喜びを感じます。「あなたをいつも見ていますよ」というアピールが必要なのだと思います。私の目標の一つは成年後見人になることですが、今は、職場で活かせるよう、様々な知識を身につけたいと思います。

社会福祉士会の皆様、どうぞご指導くださいますようお願いいたします。

### 【趣味について】

私の趣味は、中国の歌を歌うことです。中国語のファンになったのも、中国の歌を聴いたことから始まります。私のロングヒット曲は“熊猫咪咪”「パンダのミミちゃん」。歌の後半に“请让我来帮助你，就像帮助我自己 请让我去关心你，就像帮助我们自己 这世界会变得更美丽（訳：あなたを助けましょう、私を助けるように。あなたを支えましょう、私たちを支えるように。（そうすれば）この世界はもっと美しくなっていくよ。）”という部分があります。この歌を知った時から、私は福祉の世界に導かれていたのかもしれません。中国の老人ホームでも介護士さんが歌っていました。私も中国人高齢者さんたちと、いつか合唱したいです。



Chiaki

## 支援のかたち・居場所・紹介

### コミュニティハウスひとのま～代表の宮田さんに会いにいきました

#### 【家を開けているから 必要な人は来ていいよ】

コロナ禍の中で、誰もが集まる場所 ひとのまの人々はどのように過ごしているのか

「コミュニティハウスひとのま」は、あいの風とやま鉄道高岡駅からも徒歩約 15 分ほどの場所にあります。ここは宮田 隼(みやたじゅん)さんが開く、八丁道沿いの一軒家です。スタッフはいません。365 日、24 時間開いている一軒家です。24 時間開いているけれど、2011 年開所以来大きな問題もなく来たという。ここには、何をしているのか

な?と来る近所の人、学校になじめず不登校になっている子どもの学習の支援・居場所、ひきこもりの大人の居場所、家族との、また仕事や職場の人間関係に悩んでいる大人、DVの被害者当事者の居場所。また、年金や生活保護の申請から生活を立て直すための家でもあります。

「ひとのまに行けば ごはんがある」先日伺った時も、豪雪で配送ができなかった生協の食料が、フードバンクを通じて届けられていました。食べ物は困っている人のために。・水・金曜日は、夕食を皆で食べるのです。作る人は特に決まっていなくて、ひとのまを利用している人が作ります。訪問日はある日の金曜日。小学生から中・高校生男女、20代青年が利用中でした。各々自分の好きな場所で学習や読書などで過ごしています。各自が居るスペースは、密にならないようにテーブルがいくつかに分けられ、消毒用ボトルが置かれています。

#### 【コロナ緊急事態宣言のとき、開けるか迷った】

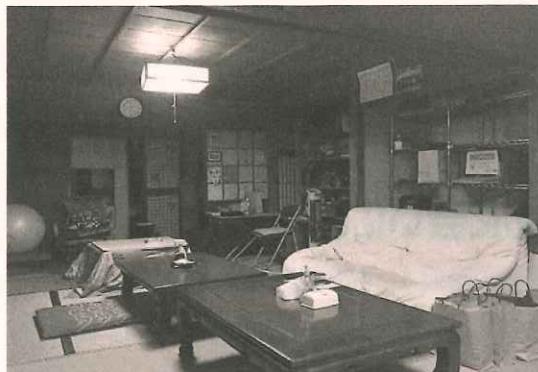
「利用者に状況だけは説明しました。来るか来ないかは自分で判断して決めてくれ。ひとのまは、これまでと同じように開いていて俺はそこにいるよ」

「利用者は来なくなりました。迷惑をかけてはいけない事を人一倍に感じている人たちだから。家族と関係が悪い人等は、むしろひとのまに来たほうが良い人もいる。緊急事態宣言解除後は普通に戻ったけれど、感染の心配があるので、自ら消毒やマスクをして皆、予防をしていますよ」マスクが不足していた時も、困っている人がいるから余っていたらくださいーと声を上げたら協力してくださる方々からたくさん集まつたそうだ。開けているからには「自分でもマスクや消毒をして…ちゃんとアピールしている」

コロナ禍で派遣切りにあった 50代半ば男性の話があります。仕事と住まいを無くしたので、スーパー銭湯に宿泊して一ヶ月過ごし貯金が底をつく。普通だったら住まいの心配と失業保険を得ることを考えるのだが、考えられないため支援の枠組みにたどりつけないのです。コロナ禍の中で自殺が増え、相談窓口が増えても相談ができないのです。

支援の枠組みにあてたら難しいケースは、何ができるか何を恐れるかを知り一回受けとめるためには、最低二ヶ月は必要になるとお聞きました。できないことを一緒に考え、時間をかけて説明する。支援の枠組みに当てはまらないケースは難しいけれど、本人が解ってくれるまで懇々と話をしていく(調べました。懇々という言葉は心を込めて丁寧に話すという意味があるのですね)

時間はかかるけれど、この姿勢は変わらないのです。



2020年4月のひとのま



現在のひとのま

#### 【ひとのまのこれから・雑感】

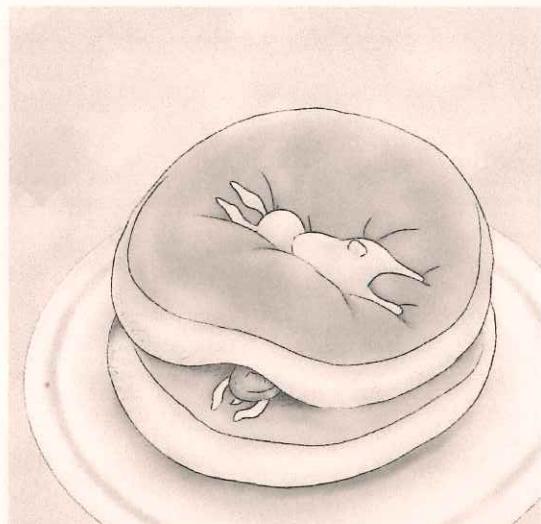
不登校の場合は宮田さんが学校と関わることもあるそうです。例えば三者面談に同席。本人の日常を知っているのは宮田さんだから。印象的なのは、みんなと仲良くしたいという言葉。これは社会のみんなと仲良く。これからも

受けとめる場所として、ひとのまの多様化をしていきたい。それは泊まれる機能を持った居場所、もうひとつのひとのまです。たくさんの協力者のもと、これも実現しそうです。

お話を聞いた後、宮田さんはこれから鬱を発症した青年宅へ、食べ物を持って訪問の予定があるという。紙袋にバサッバサッと食料を入れ「こんだけあれば大丈夫っしょ」と。今日はフードバンクより大量のしめじと卵の寄付があったのだ。中高生の女子グループ炬燵付近ではギター練習が始まり、あいみょんのマリーゴールドを練習中でした。私が最初に来た時より、なかなか上手になっていました。

助ける人、助けられる人と立ち位置を勝手に決めないで。

寄りかかれたくない。それはあなたの人生だから。



Chiaki.

## ＊＊＊ 事務局からのお知らせ ＊＊＊

### 【会員情報の変更について】

ご住所、勤務先に変更があった場合は速やかに変更届を提出してください。

日本社会福祉士会ＨＰ（[www.jacsw.or.jp](http://www.jacsw.or.jp)）からもダウンロードできます。

### 編集後記

鰯おこし 102 号を発行することができました。ご協力いただいた方々に厚くお礼を申しあげます。

年明けからの雪は、想像もできない大雪でした。雪は年々少ないと勝手に思っていたこともあります。

新型コロナ感染症の収束もまだ見えず、長年過ごしてきた日常は今ここにはありません。

それでも新しい年に願います。もう一度、家族と愛しい絆を深める時間が持てますように。

友や仲間と、互いに語らい、笑いあえる時間が持てますように。

そして生きるみなが、夢や希望の持てる世界になりますように。

N.yoshie